

○ 理科 小学校第5学年 ③

「物の溶け方」

| 問題番号     | 出題の趣旨   | 学習指導要領との関連   | 評価の観点 |    |   |    |
|----------|---|--|-------|----|---|----|
|          |   |  | 関意    | 思表 | 技 | 知理 |
| (1)<br>① | 水の温度とものがとける量の関係<br>を調べる実験において、一定にすべき条件を選択できるかをみる。                   | 第5学年A物質・エネルギー<br>(1) 物の溶け方<br>ア 物が水に溶ける量には限界があること。   |       | ○  | ○ |    |
| (1)<br>② | 水の温度が一定な場合、ものがとける量は、水の量によって変化するという規則性をもとに、とける量を求めることができるかをみる。       |  |       | ○  |   |    |
| (2)<br>① | 一定量の水に溶ける物質が量は、とけるものによって違うという性質を利用して、温度を下げることで、取り出しやすい物質を選択できるかをみる。 | 第5学年A物質・エネルギー<br>(1) 物の溶け方<br>イ 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うこと。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができること。 |       | ○  |   |    |
| (2)<br>② | 温度を下げることで、取り出しやすい物質を選択した理由を記述できるかをみる。                               |  |       | ○  |   |    |